

めぐみ厚生センター センターだより

第 328 号
発行 2012年3月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

昨年三月東日本を襲った未曾有の大震災が起これり早一年をむかえました。多くの犠牲者の方々は大津波と原発の事故による放射能の三重苦の被害に見舞われ、極寒の地で必死に復興を目指しておられます。私たちはその姿に目をそらしてはなりません。心よりお見舞い申し上げます。

わが国では、少子化の影響で老年寄りが増え高齢化社会の到来が大きな問題となっており、身近ではお年寄りで病気の母親の介護に疲れた青年が母親を山奥に置き去りにして凍死させた、一人住まいの高齢者の方が、誰にもみとらることなくアパートの部屋で亡くなっていたなど、悲報が伝えられています。これからの行く末が案じられます。

身近で生活している人たちがひとこと声をかけることで大事に至らぬことが出来れば残された人生を送れたのにと悔やまれます。

最近新たな社会貢献として注目されており「傾聴(けいちょう)」という言葉がよく聞くようになりました。漢字では「耳を傾けてよく聴く」と書きます。傾聴ボランティアとは、相手の話を否定せずに、キチンと受け止めて聴くトレーニングを積んだお話しボランティアです。その活動は、地域における相互扶助の活動です。

傾聴ボランティアは、相手の方に、生きる元気・活力・勇気を持ってもらえる



新たな社会貢献活動として注目されている「傾聴ボランティア活動について」

傾聴ボランティア佐賀・「かたらい」

会長 市丸 俊文



よう支援する活動です。

傾聴ボランティアは、お話しをお聴きする(傾聴すること)によって、相手の方が思い悩んでいる事について、考え方の整理がついたり、自分なりに納得の行く判断(自律的な判断)に至ることをお手伝いする活動です。それは自立支援の活動でもあります。

傾聴ボランティアは、言語による双方コミュニケーションが十分に取れない方々(例えば、認知症や失語症の方々など)とも、楽しく有意義な時間を共有する活動です。情緒の一体感を共有する活動であるとも言われています。

私たち「傾聴ボランティア佐賀・かたらい」は平成十八年九月東京の特定非常営利活動法人「フオールファミリーケア協会」(理事長 鈴木絹英講師)による養成講座を受け翌平成十九年三月「傾聴ボランティア佐賀・かたらい」を結成しました。活動としては年配の方や、少し認知症にかかっておられ家庭で介護されておられる方や、老人介護施設に入居しておられる方、独り暮らしでなくても昼間家族の方が出かけられ一人で過ごしておられる方などの、お話し相手をするボランティア活動をしております。お会いする方はいろいろな性格の方がおられ、体の不自由な方、目の見えない方もおられます。耳の聞こえない方もおられます。天涯孤独の方、家族のおられない方、黙って声をかけても拒否する方などにもお会いし



ます。自分が前に生活していた生活環境から違った場所にきて戸惑っておられる方や、陽気な方、さびしい方など様々です。

最初はなかなか心を開いて頂く方はおられません。「二十分」の時間制限のなか途方に暮れることもあります。お世話をしておられる職員の方たちは決められたこと、矢継ぎ早に対応されるため、一人にかける時間を調整に追われて大変なようです。私たちはなるべく係の人たちのお邪魔にならないように気を配りながら話しかけています。中には私たちのことをじつと観察している人もおられます。色々な方々にお会いしながら自分の心を邪念の起きないよう心がけて寄り添い声をかけております。突然自分から話しかけてこれこれ自分の輝いていた頃の話、家族の事、友人との思い出等を語られることがあります。長い間自分の中で閉ざした心が、急に開かれ表情が穏やかになられ孤独感や不安が解放され、目が輝き生き生きと開かれ、楽しく語られる姿はほんの一瞬ですが輝いて見えます。

不思議ですね。

今年五月で六年目を迎えます。当初四名で発足した「かたらい」も養成講座を受講して会員として登録してくれた仲間たちが百人を超えました。しかし、まだまだたくさんの方の孤独に過す高齢者の人々にお会いする為には人手が足りない状況です。今年九月二十二日(土)十時より十二時まで鈴木絹英講師による「良い聴き手になるために」公開講座を開催します。場所は(佐賀市)Mイトプラザ佐賀一階多目的ホール(入場無料)皆様も是非ご来場下さい。

編集部より
傾聴ボランティア養成講座について、最終頁のご案内に掲載しております。

めぐみ園

初釜

一月十日、今年初めての茶道教室は、山下宗孝先生宅で初釜会を行いました。庭にある「つくばい」で手を清め家内に入りました。茶室に入るとみなさん緊張した様子でしたが、お雑煮が出されると表情も和らぎ、あつという間に完食！お屠蘇を飲んでほろ酔い状態の方もいました。その後濃茶・薄茶をそれぞれのお菓子に合わせて頂きました。

希望される利用者の方は実際に柄杓で釜よりお湯を汲みお茶を点てることができました。練習用の道具とは違い、高価な道具も手荒く使用するみなさんに、先生はドキドキの連発のようでした。(キョンジヤ)



いつもより表情が真剣です



まずはお清めから

♪音楽って最高♪

一月二十一日、佐賀西高校吹奏楽部の皆さんが来園されました。

利用者の皆さんは、様々な楽器の音色に耳を傾け、迫力のある演奏と美しい歌声に感動！



この曲聞いたことあるよネ

笑顔一杯で楽しい交流のひとつをありがとうございました。

四月一日、佐賀市文化会館で行われる定期演奏会に向け皆さん頑張ってください！
ご招待頂き、大きな会場での迫力ある演奏を楽しみにしております。(マザー)

佐賀県立佐賀西高等学校吹奏楽団
第42回 定期演奏会

2012年4月1日(日)
開演13:30 終演14:00
佐賀市文化会館 大ホール
入場料 500円

主催：佐賀県立佐賀西高等学校吹奏楽部OB会
佐賀県立佐賀西高等学校吹奏楽部
*お問い合わせ TEL 0952-24-4331(佐賀西高校 山口)

皮膚科検診

二月二十三日、「ながせ皮膚科」の永瀬先生にお願いで利用者皆さんの皮膚の健康チェックをして頂きました。

日々衛生面に充分気をつけながら快適に園での生活が過ごせるようにみんなで注意をしていきたいと思えます。



完治してるかな

映画鑑賞

一月二十九日、メイトプラザ佐賀で行われた手をつなぐ育成会主催の「三分の一の奇跡」と言うドキュメンタリー映画の鑑賞に利用者十名と職員二名で行きました。

主人公の学生時代から現在に至るまでの様々な出会いの中、それぞれの方々からもらった言葉や文章があり、その内容はとても純粋で真つ直ぐな気持ちの言葉がたくさん出てきていました。最後には、観客の方と共に拍手をされて楽しい映画鑑賞が出来ました。(バナナ)

どりいむ

☆一日外出 一月二十六日☆

どりいむ・地域活動支援センター台同の今年度最後の一日外出は、利用者の方からのリクエストで金立の徐福長寿館へ行ってきました。

その前に皆で昼食タイムです。今回は大和ジャスコのフードコートで好きな物を注文して食べましたよ。そして、徐福長寿館へ移動です！

館内では、葉草茶の試飲(どくだみ茶)、館長さんより徐福についての話やビデオを見せてもらいました。また、外には沢山の葉草が植えられており、春には山の桜と一緒に見頃とのことでした。

実は：前日まで佐賀地方は大雪。行けるかどうか心配でしたが、行きたい気持ち勝ち勝ったようで、当日は良い天候に恵まれました。

皆様、一度足を運んでみてはいかがですか？(どりいむガール)



気持ちがいいな～

富士学園

自治会活動

自己選択・自己決定の場が増え、利用者が主体的に生活する意識の向上につながることでより質の高い生活の実現となるよう、毎週金曜日の午後皆さんが集まり意見や要望を発表されています。皆さんから出された様々な意見は書記が黒板に書き、同意する意見には賛成の挙手をして理解を深めるよう努めておられます。



意見・要望は記録に残し、施設の運営にも反映させていただきます。 (のろすけ & フッジー)

要望については必ず施設から回答する方法が取られており、可能な限り実現出来るよう施設・職員共努めています。

成人式を迎えて



一月八日(日)にフォレスト富士にて成人式が行われ、ウイズ富士からはK・K様、富士学園からはO・K様、I・K様が参列されました。 富士学園のO



様に大人になってがんばりたいこと、やりたいことを伺うと「日中活動がんばります」と元気な答えが返ってきました。

(かもっち)

感染症対策について

毎年猛威を振るうインフルエンザやノロウイルスなどの様々な感染症予防として、普段から手洗い・うがいや手指・ドアノブの消毒を行っています。そしてこの冬あらたに、ウイルスや細菌などを寄せ付けない対策として空気清浄機と加湿器を購入しディールームに設置しました。

シリーズ企画第五弾

妄想するって楽しい



三日坊主の私、ストレス解消法は、意外にも読書です。ジャンルは問わないんですが、つつい話題作を読んでいます。

今回は話題作の話ではないんですが、昨年、佐賀の民話の本が出版された中に、祖父の語った民話が二十数話載っているのと父から聞き、さっそく読んでみると、懐かしい感じがしました。他界して三十数年が過ぎ私の記憶も薄れかけていきましたが、本を読んでいくうちに、あの当時の事が思い出されます。時々遊びに行くと、お座敷で孫たちにお話を語ってくれていました。(内容は、もう忘れてしまいました...) 語り終わると必ず、お抹茶をたててくれていたんですが子供の私には苦くてたまらなかつたですね。

本は現実の世界から、すーっと離れ自分の思いで自由に感じる事が出来るので、とても楽しい時間を過ごせますが、近頃は、時間に余裕がなく短編ばかりで、すぐ現実に戻されています。(ユズリー)

昭和だなあ。私も今は亡き祖父の姿が目につかびます。また同時に孫に語りながら抹茶を出してユズリー婆さんの未来もね。

本ナシで妄想する男(田中@K)

ウイズ富士

十二月二十一日

諸富昇開橋展望公園へ

ウイズ富士では、ほぼ毎月開所日に佐賀県のあらゆる名所へ行ったり、美味しい料理を頂いたりしています。今回は諸富の昇開橋展望公園へ行きました。



皆で記念写真

現在故障の為通り抜け出来ませんでした



中国慈溪市から寄贈された徐福の像の前で



次回はどこに行こうかな？

ふれあい

「春を呼ぶ虹の音色」

富士学園では毎月一回、レクリエーションとして富士町からレインボー音楽隊の方々をお迎えしてコンサートを開催しています。季節の歌やシャンソン、童謡など幅広いプログラムで行われ、中でも毎回定番で歌われている「きよしのブンドコ節」は、利用者の方々もステージに参加され、歌と踊りで大変な盛り上がりです。二月二十四日のコンサートでも「翼をください」

●気分は大物歌手？



などの親しみやすい曲に、皆さん楽しく聞き入っておられました。楽しく美しい歌声に感謝です。
(田中@R)

聖句

わたしは、神からいただいた恵みによって、熟練した建築家のように土台を据えました。そして、他の人がその上に家を建てています。ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。

(コリントの信徒への手紙一 三章十節)

小林幸子コンサート

二月二十六日、佐賀市文化会館にてコンサートに利用者一名職員一名で外出！

大ホールは来場者満席で大盛り上がり、パフォーマンス衣装や紅白用で舞台いっぱい広がる衣装で早変わりが九回もあり、ステージ上、客席と一体感で見応えのある素晴らしいコンサートに感激！
(マザー)



幸子パワーをいただきました

〓うし話〓

招待券を二枚もらったので座席券と交換に文化会館へ某職員が行きました。九時からの交換に八時三十分に着、するとすでに長蛇の列が！

並ぶこと一時間余り、お陰で前後のおじさん・おばさんと仲良しに。早い人は、午前一時頃にこられたそうなる♪無理しいてえ、並んじやいけえなあいとおく♪

皆様ありがとうございます

(十二月分)

◎ウイズ富士へ

●コダマ紙器様より

クリスマスケーキ寄付

(一・二月分)

◎めぐみ園へ

●株山代ガス様より

善意銀行を通じて寄付

●田中タヨ様より

寄付

【ご案内】

映画「大地の詩」上映会

十八歳でキリスト教の洗礼を受け、非行少年の感化事業に尽力し、不良少年更生の父と呼ばれ明治から昭和初期にかけての社会事業家。留岡幸助の生涯を映画化したものです。

日時 四月二十八日(土)

会場 十時三十分～ 十四時

佐賀県立美術館ホール

前売券 千円(当日 千五百円)

販売 チケットぴあ

「Pコード」4621713

お問い合わせ先

㈱現代ぷろだくしょん

〇三―五三八〇―九八七一

傾聴ボランティア養成講座

日時 九月二十二日(土)～二十五日(火)

「短期集中連続四日間二十五時間」

会場 佐賀市メイトプラザ佐賀

参加費 一人五千円

お問い合わせ先

佐賀市社会福祉協議会

〇九五二―三二―六六七〇

あとがき

～手前味噌～

手前味噌という場合の「手前」は自分のすぐ前ではなく、一人称の「自分」。時代劇なんかで、商人がもみ手しながら「手前どもといたしましては…」などと喋るアレですね。そして、味噌は昔は各家庭で良い味を出すための工夫を凝らして作ったことから、「趣向を凝らしたもの」という意味でもあります。

さて、皆様今年度の「手前どもの味噌」、めぐみ厚生センターだよりのお味はいかがでしたか？写真の扱い方、見出しの表現、シリーズ企画、ニックネーム表記等々の工夫凝らして作ってきました。毎回、そこそこ自己満足がありながらも、旨いと感じていただけているものか読者の顔色が気になったのも事実。

熟成が足りないとのこと指摘があるかと思いますが、まだまだ試行錯誤継続中なのでお許し下さい。

なにせ、利用者支援・食事サービスの提供・多様な事務処理業務を抱えた中での記事作成と編集作業なので…。あれ？だんだん弱気なあとがきになってきた。

折角頑張ってきた今年度のセンターだよりのシメに編集委員長がミソを付けたと言われなきや良いが…。

(田中@K)